

# 宇気郷住民協議会

今月から各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介していきます。  
第1回目は、宇気郷住民協議会です。



桜も美しい、宇気郷地域



宇気郷住民協議会  
大石 正幸 会長

宇気郷住民協議会は、2011年6月に設立されました。安全安心、地域活性化、生きがい学習の3つの委員会を軸に、地域の課題解決に向けて取り組んでいます。会長を務める大石正幸さん(78)は「住民協議会ができてから色々な事業に取り組みやすくなった。」と話します。

宇気郷地区には95世帯、179人が暮らしています。昭和30年には1400人以上が暮らしていましたが、高度経済成長とともに減り続け、現在は高齢化率が66%にも上っています。地域の人口は減ったものの、暮らす人同士、また、宇気郷地区出身者など、縁のある人たちとの付き合いは大切にされています。



のどかな風景がひろがる

美化活動やイベントに地区外からも多くの人が手伝いに駆け付けます。

人口は、ここら、6年減っていないといえます。早くから空き家対策に独自で取り組んできた成果でもあります。空き家ができると必ず住民協議会と自治会で確認しています。そして、移住してきた人たちに声をかけたり、紹介してもらったりして、新たな移住者を迎え入れています。

宇気郷住民協議会は、自然や景観、人とのふれあいを大切にしながら、一体感のある地域運営と、高齢者にやさしい地域づくりを目指しています。

「100歳まで元気に暮らそう」が合言葉です。

## 活動紹介

4/23(日) **お知らせ**  
伊勢山上飯福田寺の  
春季大会式(戸開け式)



701年、役小角(えんのおづぬ)により開創された霊場で、広大な表行場・裏行場があり、の春季大会式では、戸開け式をはじめ、護摩焚き法要や火渡りが行われます。命の危険を伴う場所も多いので、注意事項を守ってください。



三世代  
ふれあいまつり

世代を超えた交流で地域の元気づくり。地域の出身者や縁のある人たちを招いて、楽しいひと時を過ごす。



健康づくり  
講座

第5包括支援センターや社会福祉協議会に協力してもらい、高齢者の元気を作る講座を開催。



お買い物バスと  
ネットスーパー

企業の協力を得て、カタログで買い物をする「ネットスーパー」と、市街地のスーパーへ無料送迎する「お買い物バス」を実現。